

地域別懇談会 プログラム

第1回 地域別懇談会 10月28日(金) 19時～

1 地域の現況の説明

(1) 位置と地勢 (2) 人口と世帯ほか

2 地域の課題

地域の課題を出す
※ 地域概要書の「3 市民意識調査」のデータを参考にする

3 資源の発掘

現在行っている地域活動、自慢できる資源、次の世代に引き継いでいきたいモノ・コトを考える

第2回 地域別懇談会 11月18日(金) 19時～

4 将来ありたい地域の姿

「地域のありたい姿」(みんなであげざしい地域のイメージ)を考える

第3回 地域別懇談会 12月16日(金) 19時～

5 具体的な取組みの掘り下げ

「地域のありたい姿」を実現するために、どんなことをしていきたいかを考える

6 地域のキャッチフレーズ

各班でまとめた「地域のありたい姿」(複数)をもとに、班ごとに「地域のキャッチフレーズ」をまとめる

以下、次年度以降

- 第3回懇談会でまとめた「地域のキャッチフレーズ」(3班分)を1つのキャッチフレーズへ集約する。
- 地域へ地域別構想素案を示し、内容について地域と合意形成を図る。

《地域別構想のイメージ(骨子案)》

① 地域のキャッチフレーズ

(例) 伝統が息づき、交流と活力のある●●地区

② 地域の現況

- (1) 位置と地勢
- (2) 人口と世帯

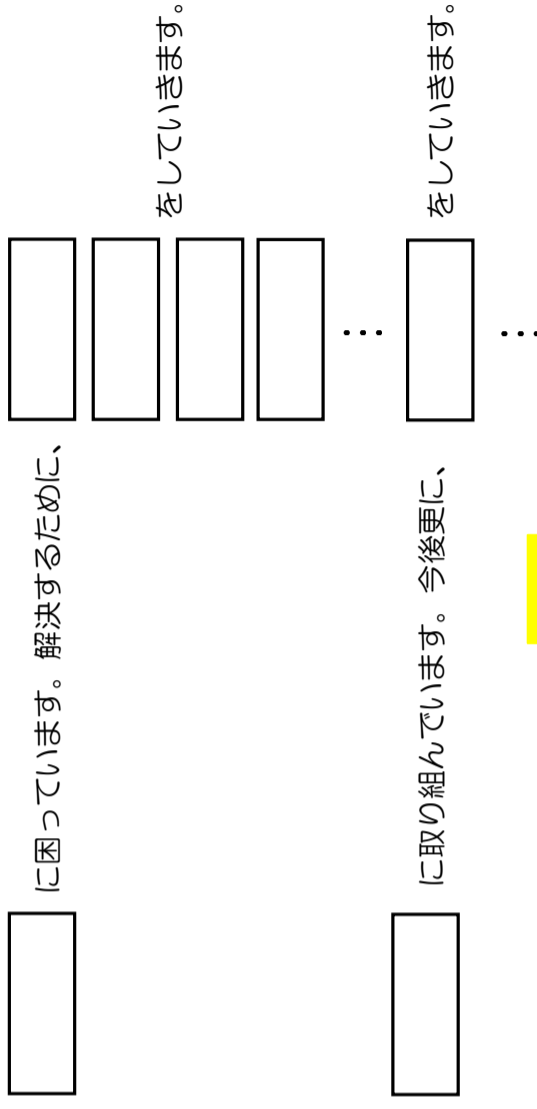
③ 地域力

地域の活動や地域の資源など

④ 地域の困ったこと(課題)と地域ができること(解決方策)

【イメージ】

●●地区の方向性 (弱みの克服と強みの伸長を記述)



⑤ 地域のありたい姿

懇談会のルール

- ① 人の話を聞くときは ふむふむと
- ② ナンバーワンより オンリーワン
- ③ 紙に書くときは ペンを使って大きな文字で

地域概要書：明峰小地域

1 地域の基本的な状況

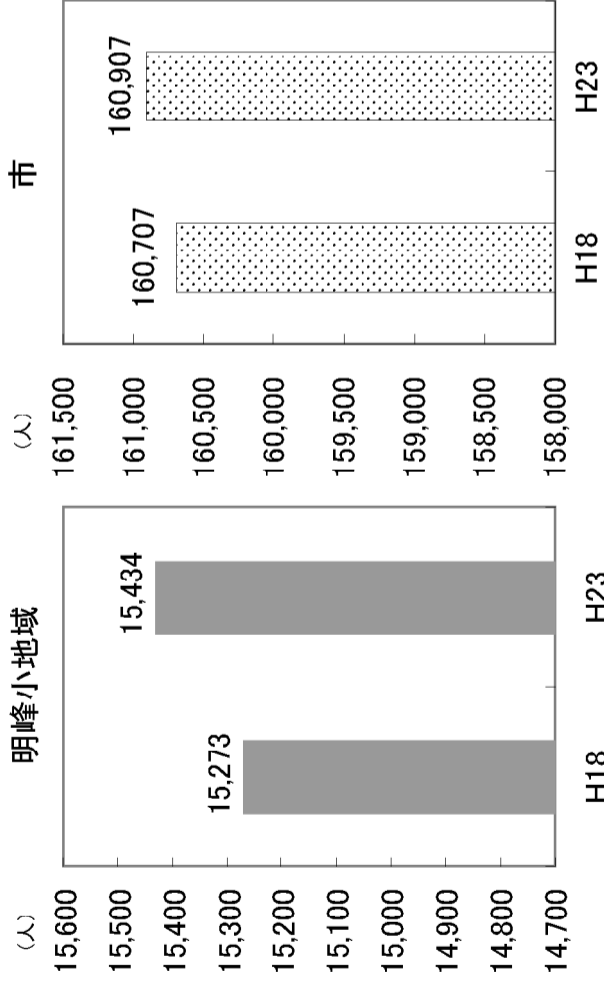
位置

市の中南部に位置しています。



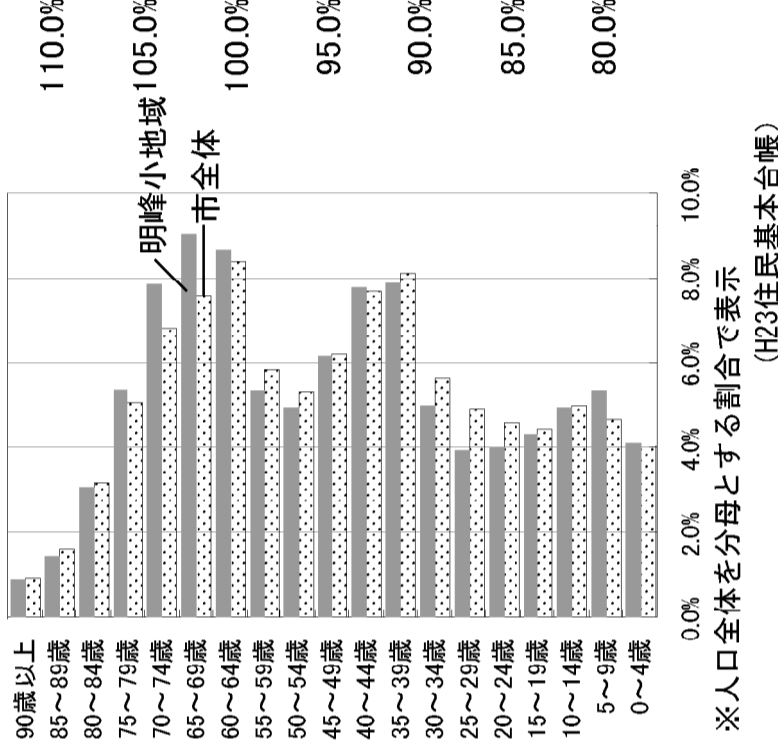
人口の変化

5年間で、1.1%(161人)増加しました。一方で市全体では、0.1%増加しています。



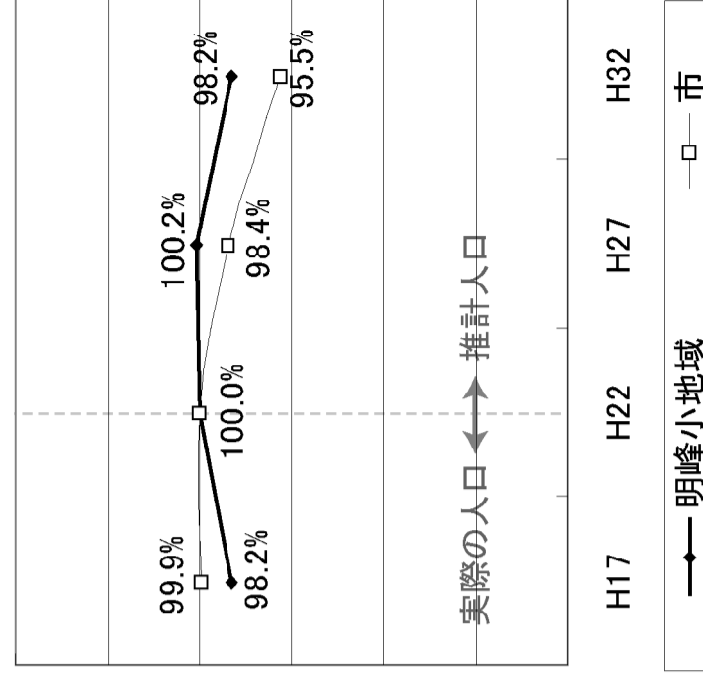
年齢別人口構成

人口を年齢別にみると、65～69歳が最も多く、続いて60～64歳が多くなっています。



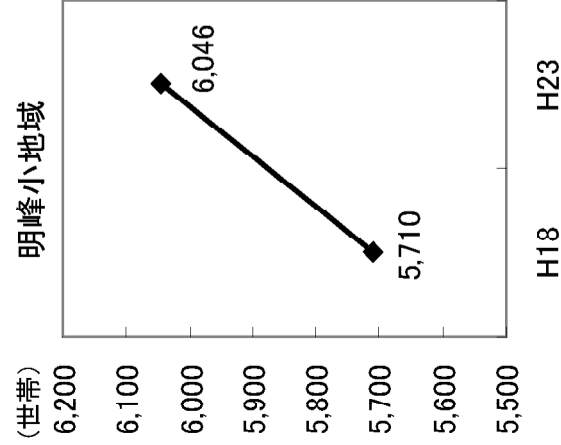
地域の将来人口推計

地域の将来人口は、10年後には270人程度(1.8%)少なくなると推計されています。



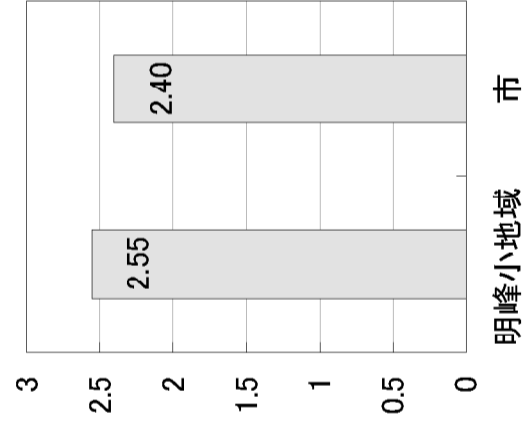
世帯数の変化

世帯数は、5年間で5.9%増加しています。市全体では約6%増加しました。



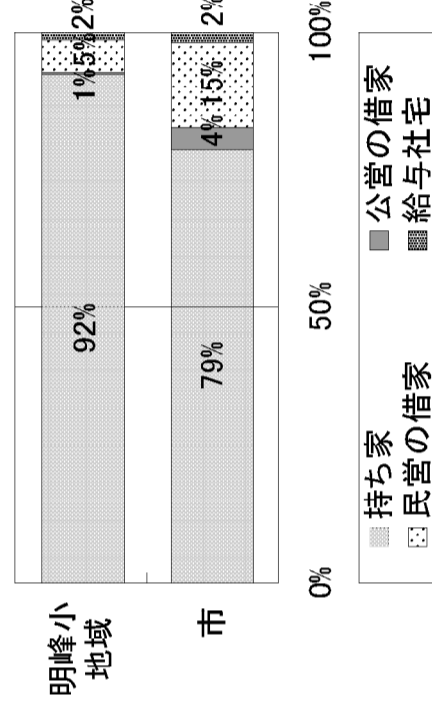
平均世帯人員

世帯あたりの人口は、2.55人となっています。



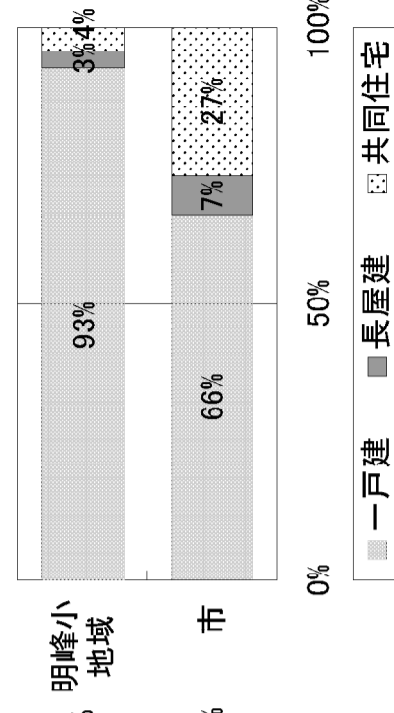
住宅の所有

市平均よりも、持ち家等の割合が大きくなっています。



住宅の建て方

市平均よりも、一戸建の割合が大きくなっています。



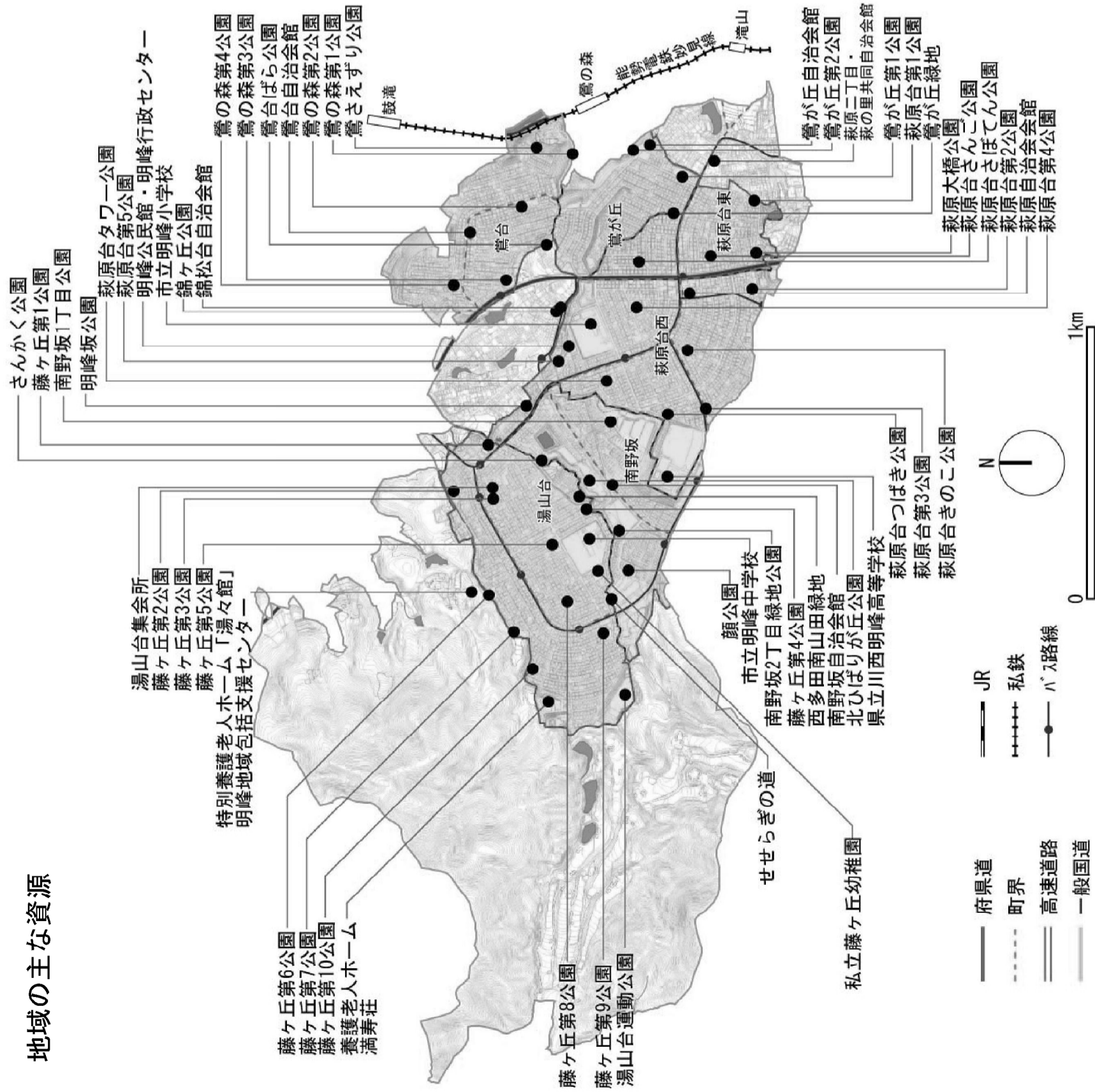
(住民基本台帳)

(H23住民基本台帳)

(H17国勢調査)

(H17国勢調査)

地域の主な資源



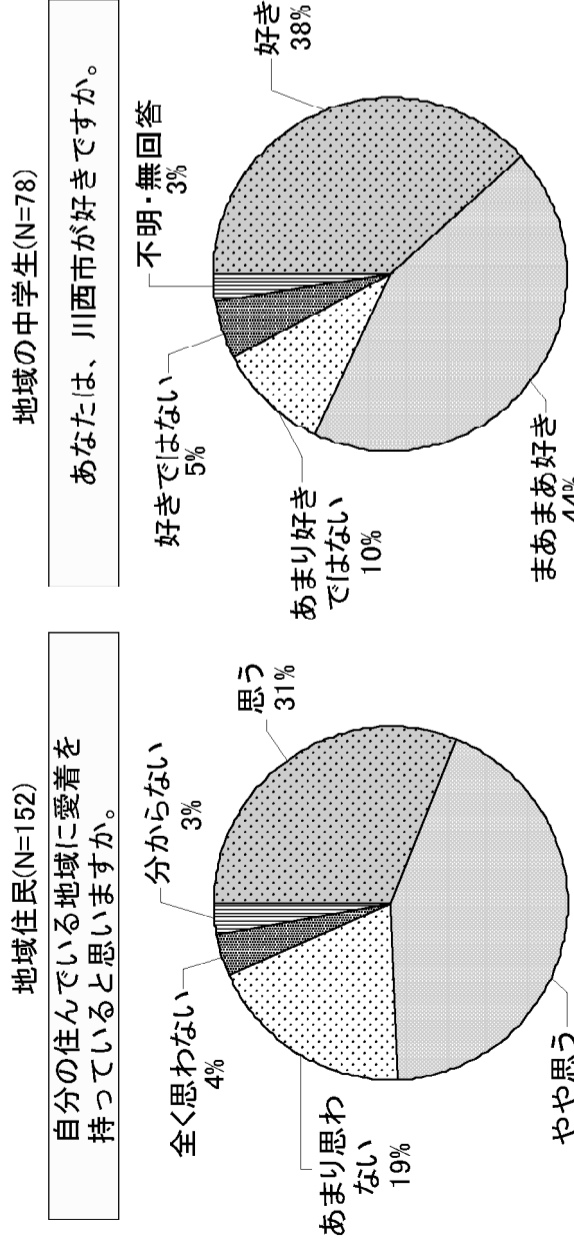
- ・猪名川が地域の東側を流れています。
- ・能勢電鉄滝山駅、鶯の森駅が地域の東側にあります。
- ・県道12号が地域の中央を南北に走っています。
- ・昭和45年から50年代前半にかけて、約150ha、4,000世帯の規模で開発されました。一部60年代に開発されたところもあります。
- ・明峰小学校、明峰中学校、川西明峰高等学校などの教育施設があります。
- ・老人ホームなどの福祉施設が2カ所あります。
- ・公園、緑地が多数あります。
- ・体育祭や文化祭などの行事が実施されています。

主な地域活動

月	活動名	場所
6	明峰まつり	
7	プール開放	
10	明峰地区体育祭	
11	明峰地区文化祭	
	健康づくりハイキング	
	明峰中学校地区清掃	
12	冬季合同補導パトロール	
1	自主防災訓練	
	PTCAフォーラム	
	明峰ゴルフ大会	
	明峰ニュース発行	

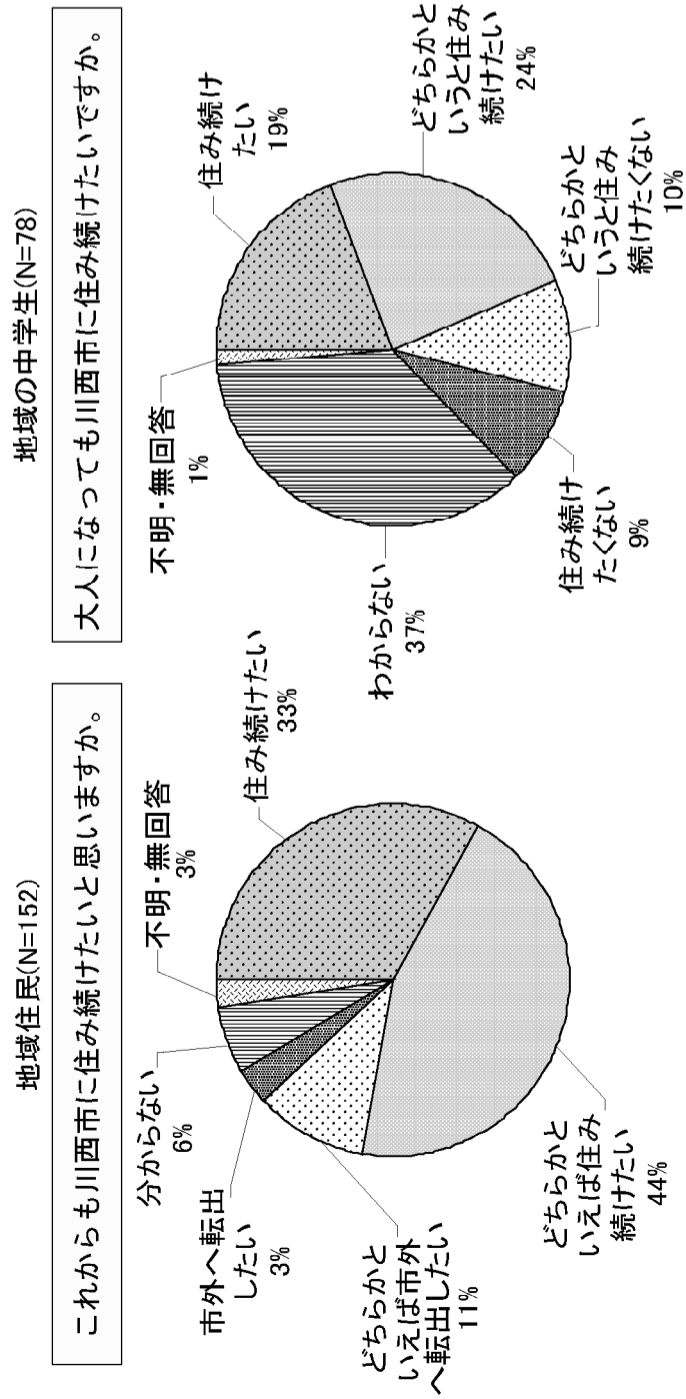
地域愛着

「愛着を持っていると思う」「やや愛着を持っていると思う」と答えた地域住民は、74%となっています。
 地域に住む中学生は、川西市が「好き」「まあまあ好き」の回答は、82%となりました。



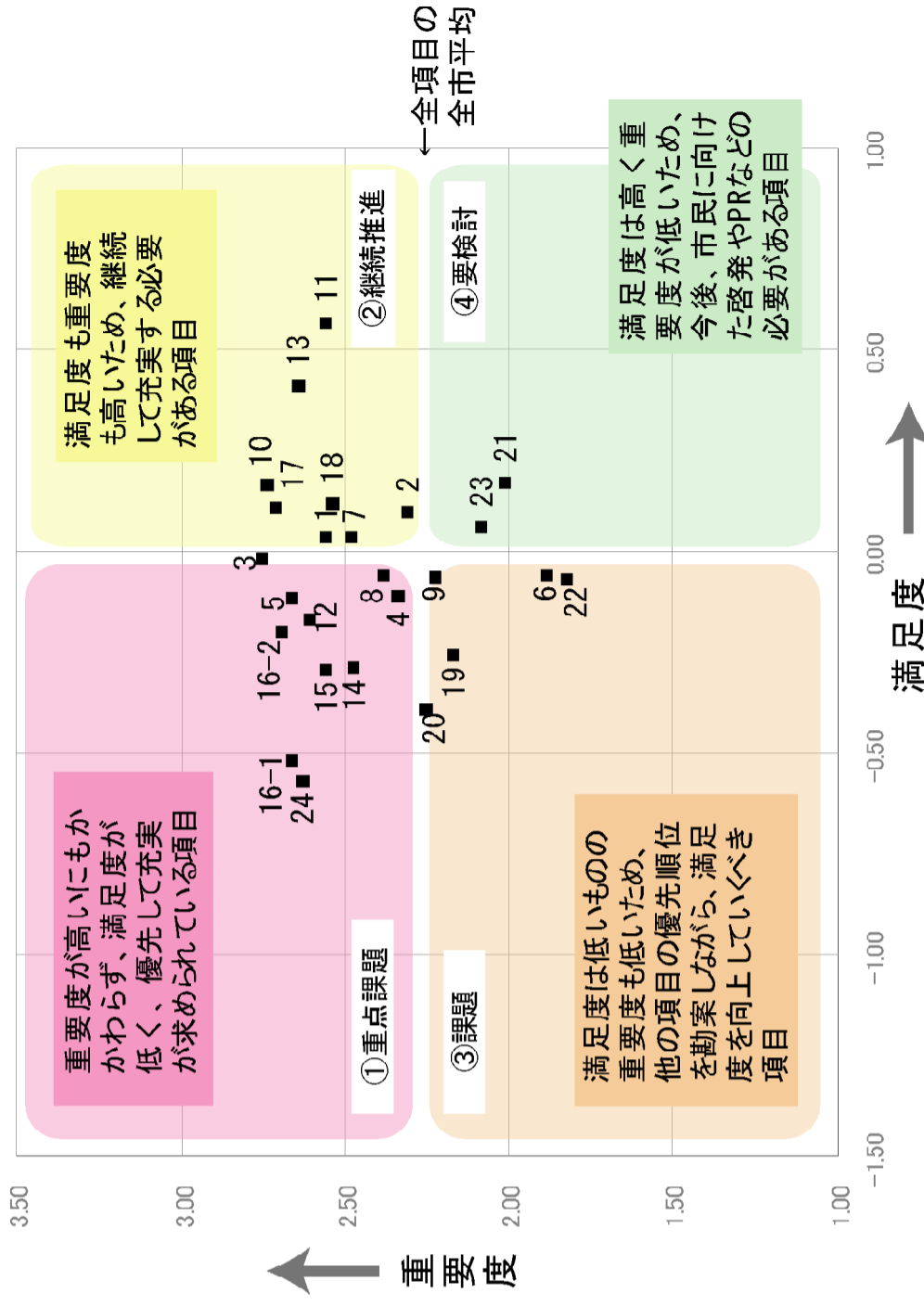
定住意向

「住み続けたい」「どちらかといえれば住み続けたい」と答えた地域住民は、77%となっています。
 一方で、中学生では、43%となりました。



暮らしの中の課題と重要度

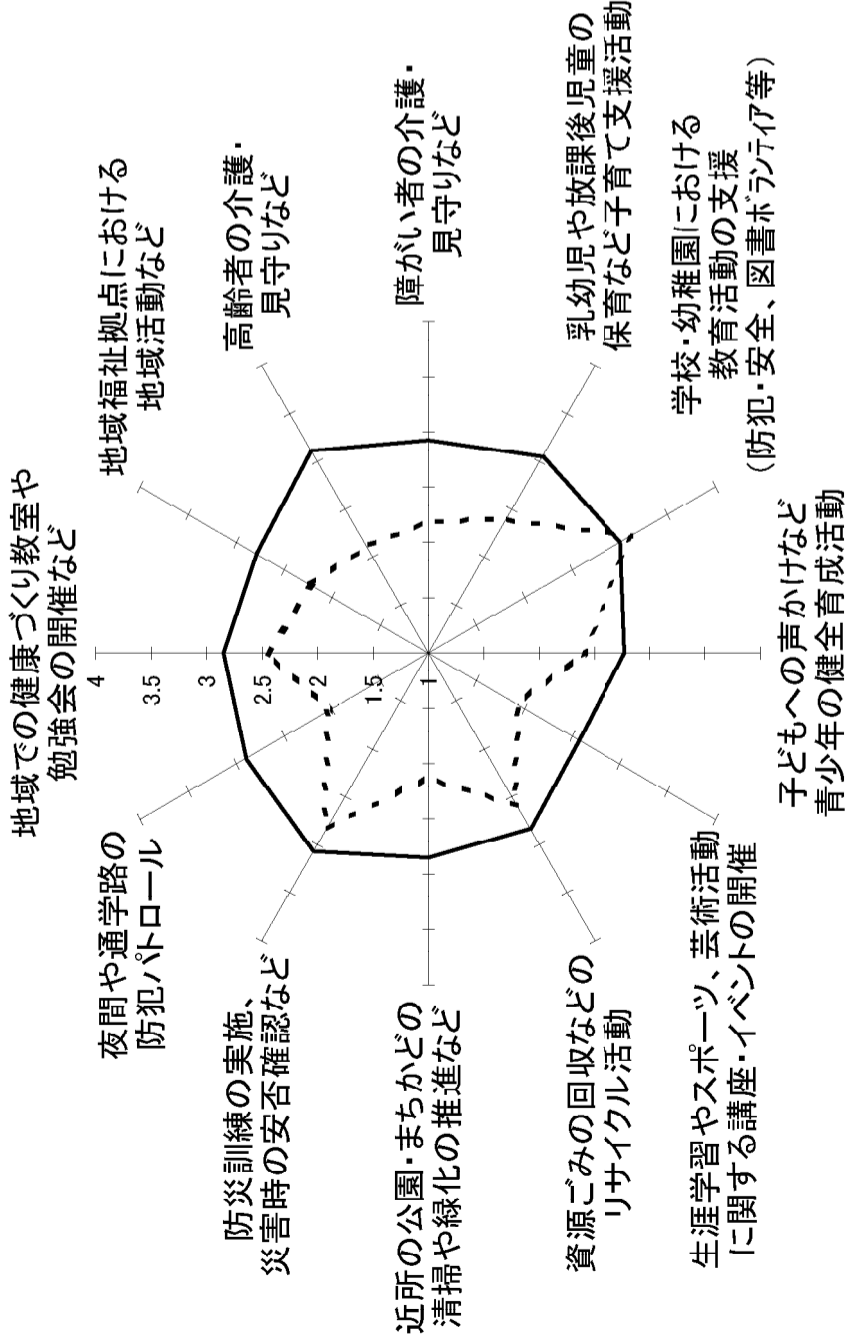
重要な課題として、「高齢者の支援」「子育て支援」「公共交通の利便性向上」が挙げられています。



①重点課題 3.高齢者の支援 4.障がい者の支援 5.子育て支援 8.青少年の育成 12.公園・みどりの整備 14.都市計画の推進 15.市街地整備 16-1.交通施設の整備 16-2.公共交通の利便性向上 24.効率的な行財政の運営 6.低所得者福祉 9.生涯学習・文化の振興 19.産業の振興 20.労働環境の向上 22.共感・共生のまちづくり	②継続推進 1.健康づくりの支援 2.地域福祉の推進 7.学校教育環境の整備 10.環境の保全 11.省資源・リサイクル 13.上水道の安定供給 17.防災力の向上 18.生活安全の推進
③課題 21.観光の振興 23.参画と協働のまちづくりの推進	④要検討

取組みの重要度と、市民の意欲

重要度が特に高いのは、「高齢者の介護・見守り」や「乳幼児や放課後児童の保育など子育て支援活動」「防災訓練の実施、災害時の安否確認など」です。地域で担うべきと考えられているのは、「学校・幼稚園における教育活動の支援」「防災訓練の実施、災害時の安否確認など」「資源ごみの回収などのリサイクル活動」です。

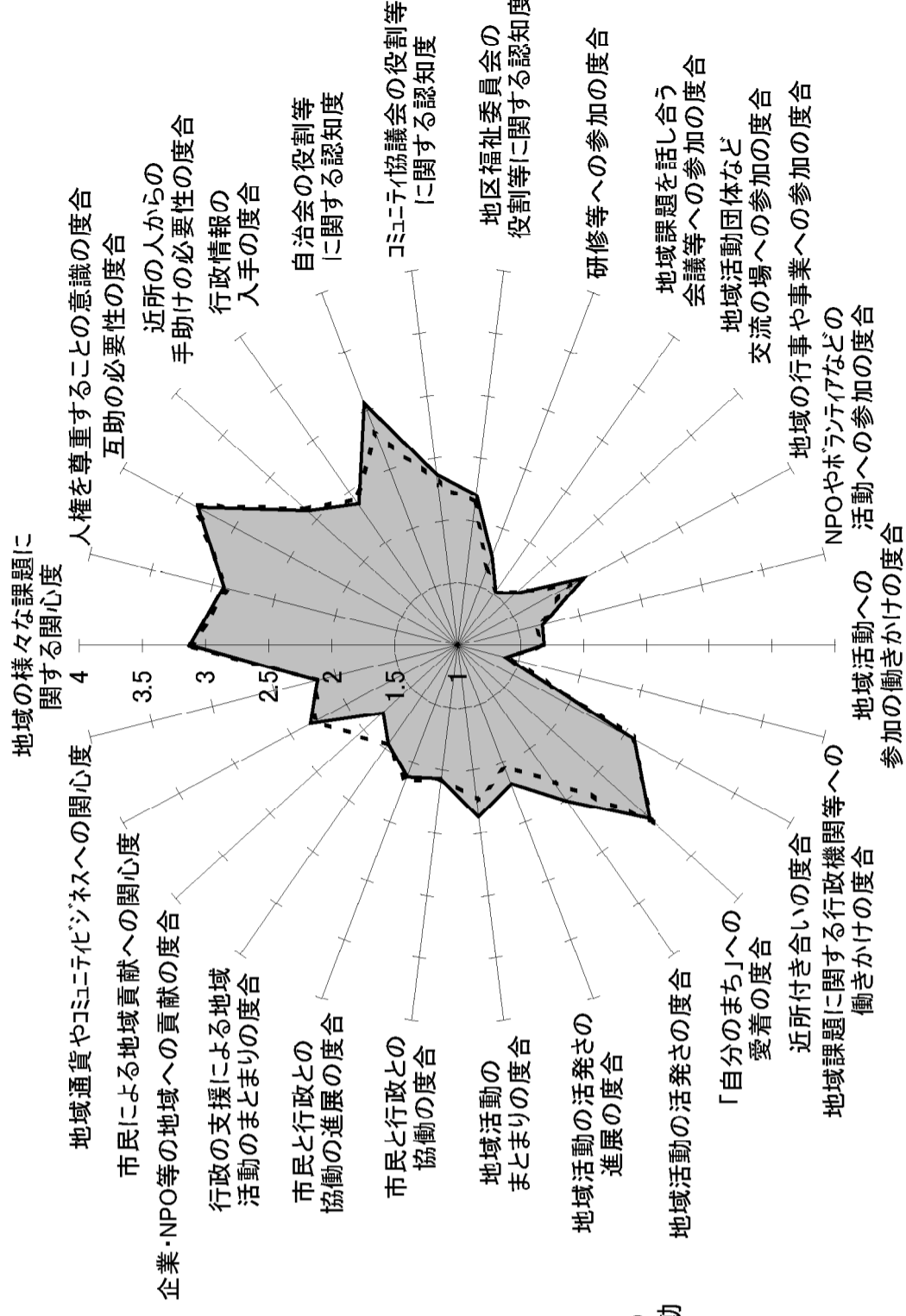


□取組みの重要度 (大きい方が重要度が高い) □市民の意欲 (大きい方が「市民が担うべき」)

※値は「わからない」および無回答を除く、小学校区別の平均値

地域の力

特に数値が高いのは、「互助の必要性の度合い」「地域の様々な課題に関する関心度」「自治会の役割等に関する認知度」です。



□地域 □市

※値は「わからない」および無回答を除く、小学校区別の平均値